

担となり。利用は無料ですが、利用登録や解除のメール送受信、配信される情報の受信にかかる費用は、利用者の負担となります。

- ▼**防災情報** 不審者が現れた地域や不審者の特徴などの情報
- ▼**火災情報** 建物、車両、林野などの火災情報
- ▼**災害情報** 災害の発生状況、避難勧告、ダム放流、河川警戒水位などの情報

彦根市では、災害や防犯に関する情報を、皆さんの携帯電話やパソコンに配信し、防災や防犯に役立てていただくための「メール配信システム」サービスを行っています。

日常生活の安全を脅かすものは、台風や大雨などの災害だけではなく、彦根市では、災害や防犯に関する情報を、皆さんの携帯電話やパソコンに配信し、防災や防犯に役立てていただくための「メール配信システム」サービスを行っています。

携帯電話やパソコンに災害情報などを配信します



## 「メール配信システム」もう、登録は済んでいますか

さあ、登録してみよう

①空メールを送信

メールの配信を希望する人は、携帯電話やパソコンから、次のメールアドレスに空メールを送信してください。

※Eメール: jounroku@hikone-city.jp

※バーコード読み取り機能付きの携帯電話を使用  
例えば、下のQRコードからもアクセスできます。



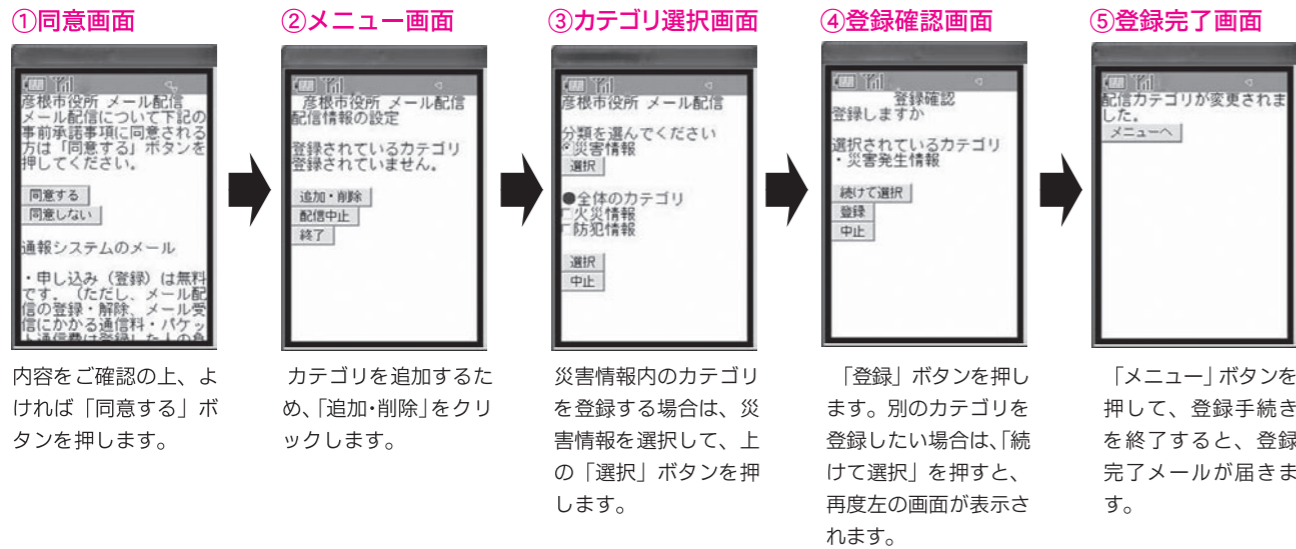
②URL入りメールが返信

配信希望を登録するためのURL入りのメール(配信元アドレス:jouhou@hikone-city.jp)が返信されてきます。メールに添付されているURLにアクセスしてください。

③下の図の手順で登録  
下の図の①～⑤の手順に従って、登録を完了してください。

※メール配信システムを利用する際の注意については、「広報ひこね」6月1日号9ページをご覧ください。

## メール配信システムの登録手順



## 10月1日から「緊急地震速報」の提供が始まります

緊急地震速報は、震源に近い観測点で地震を検知し、直ちに震源や地震の規模などを推定し、大きな揺れが迫っていることを伝える情報です。情報の提供から、大きな揺れが始まるまでは、長くて数十秒程度であり、震源に近い所では、情報の提供が地震の揺れに間に合わないことも予想されます。

しかし、大きな揺れが始まる前に防災行動をとることができ、緊急地震速報は、地震被害の軽減に役立つことが期待されており、10月1日から提供が開始されます。

気象庁では、緊急地震速報を、地震被害の防止や軽減に役立てる「利用の心得」を作成しています。緊急地震速報のしくみや「緊急地震速報の利用の心得」などについては、気象庁ホームページ(www.seisakushougou.jp)をご覧ください。

問い合わせ先 彦根地方気象防災業務課 ☎2261442 番、FAX23161409番

## 覚えておこう 3種類の「避難情報」

彦根市では、災害の発生が予測される場合に、避難情報を発信します。避難情報には、下の表の3種類があり、通常は①～③の順で発令されます。

下の表では、それぞれの避難情報について、発令さ

れるときの状況と、皆さんが取るべき行動を示しています。避難情報が出た場合は、避難情報の種類を確認して、避難の準備や避難所への移動など、速やかに行動してください。

避難情報の種類	発令時の状況	皆さんが取るべき行動
①避難準備情報(要援護者避難情報)	○要援護者など、特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない状況であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	○要援護者など、特に避難行動に時間を要する人は、計画された避難場所へ避難を開始(避難支援者は支援を開始) ○上記以外の方は、家族との連絡、非常用持ち出し品の用意など、避難準備を開始
②避難勧告	○通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	○通常の避難行動ができる人は、計画された避難場所への避難を開始
③避難指示	○前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ○堤防の隣接地など、地域の特性などから人的被害の発生する危険性が高いと判断された状況 ○人的被害の発生した状況	○避難勧告などの発令後で、避難中の住民は確実な避難を直ちに完了 ○まだ避難していない対象住民は、直ちに避難に移るとともに、避難できない場合は生命を守る最低限の行動をとる

## 「ふれあひなみ」動けるよひん

城西小学校3年学年委員 多田貴美子さん(彦根二丁目)



学年委員の「ひびきあい活動」の一環で、防災講習会を開催しました。ひびきあい活動とは、同学年の親同士のつながりを持つために行うPTA活動です。防災講習会を受講したきっかけは、委員のなかで講習を受けた人がいて、とても勉強になったと聞いたからです。また、講習を受けることが、親同士のつながりを深めるだけでなく、子どもや家族のためになることも理由の一つでした。

私の家の前は、道が狭く、古い家も多いので、地震が起きたときには、家が崩れたり、ブロック塀が倒れたりすることも考えられます。これまでは、災害が起きたときに、どのように避難すればいいのかなど、不安なこともありましたが、講習会で、そういった場合には、まずは2階に逃げた方がいいと教えていただき、安心しました。

私も、防災が大切であることは理解しているつもりです。しかし、災害が起きたときに、自分や家族はどのように行動すればいいのか、日ごろの備えや、避難所までの経路など、一人ひとりの行動について、家族や地域で話しあっておくことが大切なんだと思います。